

## 【概況】 6 月 25 日に行いました、プランクトン調査(燧灘)の結果をお知らせします。

- ・魚毒性を示す有害プランクトン、シャットネラ属(アンティカ)が確認されました(定点 KA26:1 細胞/mL)。シャットネラ属は前回調査時(6/17)よりも減少しています。
- ・貝毒の原因となる有毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・珪藻類は低密度でした。
- ・燧灘沖合の表層水温は約 21~23°C、溶存酸素(DO)は約 4~8 mg/L(表層~底層まで)で推移しています。

表 : 2021 年 6 月 25 日有害・有毒プランクトン調査結果(海水 1 ミリリットルあたりの細胞数)

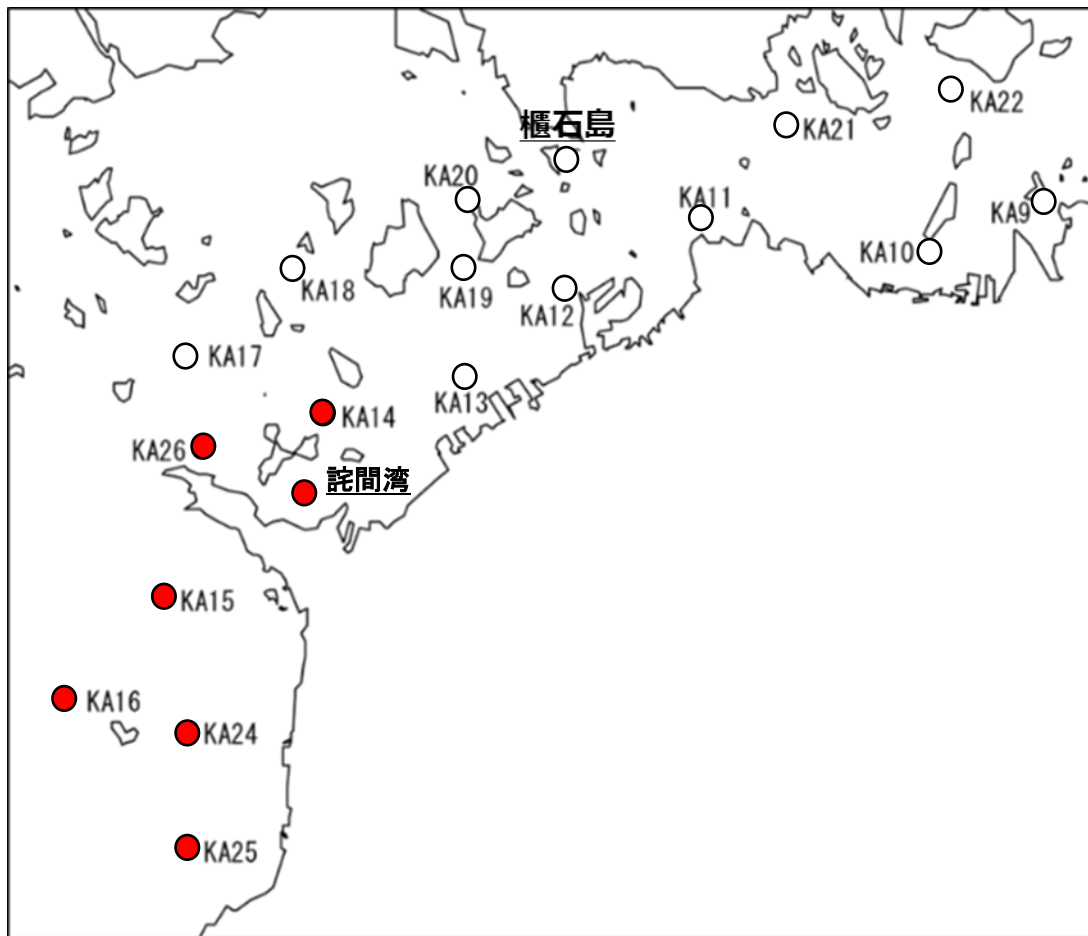
調査地点	水深(m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	カレニア・ミキモイ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	シュードシャットネラ・ベルキュローサ	シャットネラ・グロボーサ
KA14	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA15	0	0	0	0	0	0	0	5
	10	0	0	0	0	0	0	18
KA16	0	0	0	0	0	0	0	15
	10	0	0	0	0	0	0	1
KA24	0	0	0	0	0	0	0	2
	10	0	0	0	0	0	0	1
KA25	0	0	0	0	0	0	0	8
	10	0	0	0	0	0	0	12
KA26	0	0	0	0	0	0	0	18
	10	1	0	0	0	0	0	1
詫間湾	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	2

## 【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

【参考】調査定点（備讃瀬戸・燧灘）



\* 赤潮定期調査（燧灘）は合計7定点（KA14、15、16、24～26、詫間湾）で行っています。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテナラ	-	50 細胞/mL